





児童の実態に即し、学校経営の根幹である教育目標の具現化に努めながらユネスコスクールとしての教育活動の推進に心がけてきました。

この教育推進にあたっては、教職員はもとより地域・保護者の理解や協力が不可欠であると考え、これまで全校参観日での懇談や学校通信、校長室通信等を通してユネスコスクールへの取組みの周知を機会あるごとに図ってきました。

今日の混沌とした国際社会の中において、これからの時代を逞しく生きていく子ども達に足元から世界を見つめる（郷土から世界へ）、そんな広い視野や国際的な感覚を是非、身に付けていてもらいたいと考えています。

これからも、ユネスコスクールでのグローバルなネットワークを最大限に活用した、更別小学校ならではの特色ある ESD の実践を地道に積み上げていきたいと考えています。

ユネスコスクールとして歩み始めたばかりで、不十分な実践内容で大変恐縮ですが、教育活動の概要を記載し、年次報告とさせていただきます。

## 2. 本校における活動理念と概要

本校の ESD の活動目的は、ユネスコの理念を実現すること。さらには、そのネットワークを活用して、世界中の学校と児童間・教職員間の交流を通じ、情報や体験を分かち合うことにある。そのため、児童・生徒間は勿論のこと、教職員・学校間においても、世界的な交流の機会が増え、様々な連携強化という大きなメリットを活かしていくこと。

さらに、この加盟承認を機会に

- 1、地域の自然や産業を学び、人々とのふれ合いや体験活動等を通して、ふるさとさらべつを愛し、ふるさとに誇りを持つ子どもを育てる。
- 2、本校における教科や総合学習など様々な活動（人権・平和・環境・福祉・産業・伝統・情報・文化・地域貢献の領域）継続と充実を通して「持続可能な社会」「郷土の未来」を担う子ども達を育てていきたいと考えている。

### ①本校での活動内容の概略

本校では更別の豊かな自然環境や教育環境を最大限に生かし、様々な教育活動（教科、総合学習、学校行事、ボランティア活動等）を通じ地域ネットワークを大切にした特色ある教育活動に取り組んできている。

その領域は、地域・環境、福祉・健康の領域をはじめ伝統文化、環境問題、国際理解教育、情報教育など多岐にわたっている。主なものでは、全学年で年間を通しての学校農園活動や栽培体験学習を実施している。

食育教育の推進では、栄養教諭との連携による食育指導の実施や食に関する指導計画に基づく教育活動やJA青年部との栽培収穫活動、パンや豆腐等の加工などの交流活動を行ってきた。

また、地域ネットワークを大切にした教育活動では、保育所・幼稚園との年三回の交流活動や地元の更別農業高校との交流学习（花壇、手芸）、村民参観日や 収穫祭での地域住民やお年寄りとの交流活動（ふれ合い郵便）を行っている。

人権活動やボランティア活動では、長年、児童会を中心に取り組んでいる「いじめをなくそう宣言」や更別村と姉妹都市であり、東日本大震災で大きな被害を受けた東松島市の小学校への支援活動や交流を行っている。

また、環境教育では、リサイクル運動や本校に設置されている太陽光発電設備を活用してのエコ教育やごみの分別などの取組を行っている。

特に3・6年生では、主に総合的な学習の時間のなかで、それぞれの領域やテーマに基づき、具体的で持続可能な教育活動を行ってきた。

総合的な学習の時間におけるテーマの大きな柱として、

(1) 地域や学校の特色に応じた課題

- ・ 野菜や稲を育てよう・集団で表現しよう・作って遊ぼう集会
- ・ 発表会を開こう（3年・6年共通課題） 等

(2) 横断的・総合的な課題

《3年生》

- ・ 私達のじまんの村「更別」・手話で話そう・世界の国を調べよう

《4年生》

- ・ 自分たちの省エネルギー・英語と友だちになろう
- ・ 自分の思いを表現しよう・太陽光発電

《5年生》

- ・ 私たちの村をニュースにしよう・自分の体験したことをまとめよう
- ・ 環境について考えよう

《6年生》

- ・ 命を考える・自分探しの旅・自主研修の計画とまとめ
- ・ 小学校生活をまとめよう

(3) 情報基礎

《3年生》

- ・ デジタルカメラを使おうⅠ・キーボードになれよう・
- ・ インターネットを体験しようⅠ

《4年生》

- ・ ワープロ入門・デジタルカメラを使おうⅠ
- ・ インターネットを体験しようⅡ

《5年生》

- ・ 詩集を作ろう・発表会のチラシを作ろう

《6年生》

- ・ 簡単プレゼーションに挑戦

以上、様々な教育活動（教科、総合学習、学校行事、ボランティア活動等）を通してESDのテーマや領域に関わる総合的な活動を推進してきた。

## ②プロジェクトの目的

・地域の自然環境や産業を学び、人々との触れ合いや体験活動などを通して、ふるさと更別を愛し、ふるさとに誇りを持つ子どもを育てる。

・人権・平和・環境・福祉、産業・伝統・情報・文化、地域貢献などの領域における様々な活動を通して、「持続可能な社会」「郷土の未来」を担う子どもを育てる。

### (1) 地域について（ふるさと教育）

○低学年～身近な野菜を育て観察し、農作物への関心を持つ

○中学年～野菜を育て収穫することにより、農業への関心を深める。

○高学年～栽培・農園活動を通して更別の農業への関心を深める。

### (2) 福祉・健康について（人と人とのつながり）

○低学年…ふれ合い郵便を通して村内のお年寄りへの関心を持つ

\*20年以上継続（村社会福祉協議会）

○中学年～しょう害をもった人たちやお年寄りの方との交流を通して

・ ボランティアや福祉について考える。

○高学年…しょう害をもった人たちやお年寄りが安心して住める村づくり

### (3) 環境について

○低学年～学校でのごみの分別やリサイクル運動の大切さに気づく。

○中学年～ごみの分別やリサイクル運動、学校の太陽光発電に関心を持つ。

○高学年…学校や地域の環境問題についての関心を深める。

### (4) 国際理解教育

○低学年～世界の人々の暮らしに気づく。

○中学年～世界の国々や外国語に関心を持つ。

○高学年～世界と日本、私達の柑とのつながりに関心を深める。

### (5) 伝統・文化

○低学年～地域に伝わる伝統や文化に気づく。

○中学年…地域に伝わる伝統や文化を調べ、関心を持つ。

○高学年～地域や日本の伝統文化の大切さについての理解を深める。

## ③プロジェクトの実施

・全校及び各学年を通して、教科や総合的な学習の時間、学校行事や児童会活動、体験学習などを中心にこれまで実践してきた複合的で日常的な領域実践を継続して行う。

### (1) 全校的なプロジェクト

・学校農園活動（5月…9月）で育てた野菜を調理しての収穫祭（9月）

・JA青年部との交流活動（大豆の栽培、豆腐への加工）（5月～6月）

・校舎外清掃・ボランティア活動

・村民参観日で地域やお年寄りの方々との交流（9月）

- ・ふれ合い郵便の取組（敬老の日に向けて）
- ・「いじめをなくそう宣言」の取組
- ・姉妹都市、乗松島市の子ども達との交流や災害支援
- ・リサイクル活動（プルタフやキャップの回収）、太陽光発電の活用
- ・更別農業高校さんとの交流
- ・保、幼、小、での交流活動（年三回実施）

### 3. 本年の活動内容の紹介

#### （1）学校農園活動 収穫祭の取り組み～学校だより

## 大地の恵みに感謝し、収穫祭

### ～自分達で育てた野菜でおいしいカレーライス～

9月4日（水）4校時より体育館で本年度の収穫祭を行いました。当日は、学校農園作業等で大変お世話になったPTA環境部の赤澤部長さんや環境部員の皆さん、佐藤PTA会長さんをお招きし、子ども達が収穫した野菜で6年生が作ってくれたカレーをおいしく食べました。

#### 〔収穫祭のねらい〕

- ① 約四ヶ月にわたって育ててきた農作物を収穫し、それらを調理・会食することにより、自然の恵みに感謝する心を育てる。
- ② 全校児童で収穫や調理を分担して進める中、みんなで働く楽しさなどを感じていくことができる。
- ③ 集団の中でマナーを守って、周囲をよごさず、きれいに食べようとする意識や、食べ物を大切に「できるだけ残さずに食べよう」という気持ちを高めていく。

収穫祭に先立ち、担当の学年の子ども達が学校農園での収穫作業に汗を流しました。一年生は、ジャガイモと玉ねぎ、二年生は、ジャガイモとニンジン、三年生は枝豆、四年生はトウモロコシの収穫を、五年生は、ジャガイモの水洗いなど、調理の下ごしらえをしてくれました。

ジャガイモの収穫をしてくれた1・2年生は、土まみれになりながら一生懸命に手でジャガイモを掘り出してくれました。「こんなにたくさんあったよ！」「ハートの形だ！」「大きなジャガイモ見つけたよ！」とあちこちから大きな歓声が聞こえていました。

いよいよ当日は、六年生の出番です。朝から家庭科室で精魂込めて、おいしいカレーを作ってくれました。担任の齊藤先生や栄養教諭の大草先生の指導の下、時には玉ねぎ切りに涙を流しながら、本当に一生懸命、心を込めて調理し

てくれました。

てきぱきとしたチームワークの良い動きで、時間に余裕を持ってカレーが完成し、「さすがに六年生だな～」と大いに感心させられました。

四年生が会場準備を整えてくれた体育館での収穫祭では、環境部長の赤澤さんから「草取りなどの世話をよくがんばりました。大地の恵みに感謝してみんなで食べてください。」とのご挨拶の後、児童会長の鑑水輝さんが「環境部のお父さん！大変お世話になりありがとうございました。みなさんでおいしくいただきますよ。」と挨拶をしてくれました。

その後縦割り班ごとに学芸集会委員会が企画してくれた「今年の野菜作りの取り組みの紹介～野菜クイズ～」に子ども達も大いに盛り上がりました。

一年生のかわいらしい「いただきます。」の挨拶があり、いよいよ会食を開始しました。とっってもおいしいカレーに舌鼓を打ち、どの班のカレーの鍋もあっという間に空っぽになりました。

初めての収穫祭に参加した一年生をはじめ、どの学年の子ども達も笑顔で何度もお代わりをしながら会話も弾み、お腹いっぱい食べていました・・・。

結びに、約5ヶ月間、収穫祭を迎えるまで環境部の皆様には、何かとお忙しい中、農作物のお世話をいただき、心より感謝とお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

おかげさまで、とっっても素晴らしい収穫祭を行うことができました。



(3) 地域のお年寄りの方々との交流 (9月) ～校長室通信

## 四年生が「コムニの里」を訪問しました。

～お年寄りの皆さんも笑顔で大歓迎してくれました。～

11月28日(木)の3・4時間目の総合学習の時間に本校の4年生が更別村の「コムニの里」を訪れ、お年寄りの皆さんと楽しく交流を行いました。

阿部義昭施設長さんを始め沢山のお年寄りの皆さんに出迎えていただき、子ども達も、張り切って「身近な物を使って、ギロや太鼓、ギターなどの楽器作り」や「糸でんわ作り」を楽しく会話も弾みながら、にぎやかに取り組みました。

その後、「かさこ地蔵」の劇や器楽演奏も行いました。また、リクエストソングとして「夏は来ぬ」を合唱しました。おじいちゃん、おばあちゃん達も昔を思い出しながら、大きな声で一緒にうたっていました。

「子ども達が来てくれて元気になったよ」「楽しかったよ！また来てね」との、うれしいお話もうかがいました。子ども達にも、コムニの里の皆さんにとっても、とっても素晴らしい一日となりました。

帰りには、車椅子でお見送りもしていただき、本当にありがとうございました。



#### (4) 「いじめをなくそう宣言」の取組

11月19日(火)、学習発表会が終了して最初の児童朝会が行われました。

初めに伝統となっている「いじめなくそう宣言」を全校児童で唱和しました。続いて各委員会の代表からこれからの活動についての報告がありました。

代表委員会からは、「赤い羽根募金」を来週から開始する旨のお知らせがありました。

学習発表会で発揮してくれた子ども達のパワーを源に私たち教職員も二学期のしめくくりをしっかりと、取り組んでいきたいと考えています。



#### (5) 更別農業高校・保、幼、小の交流～学校だより、校長室通信より

## 楽しく更別農業高校さんとの交流活動

～二年生・四年生が花壇での花の苗植え作業を実施～

皆さんの協力で、素敵な花壇が完成です！

今年も毎年恒例となっている更別農業高校さんとの交流活動を6月14日(金)に実施しました。当日は、暖かな日差しのもと、2年生と4年生がそれぞれの学級でデザインした花壇で、色とりどりの花の苗の移植作業をみんなで協力して行いました。

まず初めに参加してくれた高校生のお姉さん達の自己紹介の後、花の苗の植え方について説明をしてもらい、それぞれの学年の花壇で子ども達の手をとって、やさしく、親切に指導をしていただきました。子ども達も真剣な表情で、とても楽しく花の苗を植えていました。

花壇に植えたきれいな花の数々は、高校生の皆さんが、まだ雪のある時期か



らビニルハウスで心をこめて大切に育ててきたものです。

この想いをしっかりと子ども達が受け継ぎ、やさしさと思いやりをもって世話をしながら、大事に育て、花壇いっぱい到大輪の花を咲かせてほしいと考えています。

そして、子ども達の心の中にも、たくさんの花が咲くといいですね。。。。。

## 今年も「巻きずし」づくりに挑戦

### ～保育園・幼稚園の年長さんと1年生が楽しく交流～

11月21日(木)に、どんぐり保育園を会場に今年度、第二回目の保・幼・小の交流会が行われ、保育園や幼稚園の年長さんと本校の1年生が楽しく美味しく「巻きずし」づくりに挑戦しました。

この交流会での「巻きずし」づくりは毎年恒例となっていますが、交流のみならず地産・地消や食育教育の一環としても位置づけられ、取り組まれているものです。

どんぐり保育園の給食・食育担当の尾崎先生から、作り方の説明を聞いた後、子ども達はグループに分かれて「巻きずし」づくりに挑戦しました。ごはんの上に更別で獲れた、いろんな具材を並べて海苔をていねいに巻いていきます。

なかなかうまく巻けず、手間取ったり苦労する子ども達の姿もありましたが、なんとかオリジナルの巻き寿司が完成し、グループごとに美味しく、楽しく会食と交流を行いました。

1年生と就学前の子ども達が一堂に会して交流を深めることは、この時期とても大切に意義のあることであると考えています。保育園や幼稚園から小学校へと子ども達がスムーズに安心して入学できるように、これからも連携を一層強くしていきたいと思っています。

最後になりましたが、楽しい交流の機会を準備していただいた保育園の先生や関係各位の皆さんに心よりお礼と感謝申し上げます。ありがとうございました。



(6) ふれあい郵便の取組、食育活動、ボランティア活動～校長室通信より

## とってもおいしかったね！手作りピザ 楽しく4年生 PTA 学年交流会

8月30日（金）に四年生のPTA 学年交流会が行われ親子で手作りピザを作り、石窯で焼いて、とてもおいしくいただきました。当日は、講師に「ますやパン」の小森憲一さんを迎え、小麦粉から生地を作り、子ども達も思い思いのトッピングでオリジナルなピザに挑戦しました。

小森さんの移動式の石窯で香ばしく焼きあがったピザに大歓声！「とってもおいしい！」と大喜びで出来上がったピザにかぶりついていました。

保護者の皆さんには、野菜の提供もしていただきました子ども達にとっても楽しく、おいしい貴重な体験となりました。地産地消の素晴らしい食育学習にもなりましたね。

## 真心をこめて、「ふれあい郵便」

今年度も更別村社会福祉協議会から「ふれあい郵便」の依頼があり、全校で取り組みました。

この「ふれあい郵便」の取組は、「心をこめて村内のお年寄りの皆さんに手紙を書いて送ろう」との趣旨のもと、村内在住で80歳以上のお年より皆さんに1年生から6年生までの全校児童が「真心をこめて手紙を書こう。」という取組です。

手紙の内容は、子ども達の自己紹介や学校での行事の様子・出来事など、それに、おじいちゃん、おばあちゃん達に聞いてみたいことや、話したいことなど様々です。思い思いに書き綴っていく子ども達ですが、「どうか元気で長生きしてください。」「学習発表会を見に来てくださいね。」などと、どの学年の子も真剣に心を込めて書いてくれました。9月16日（月）の「敬老の日」におじいちゃん、おばあちゃんに届けられるように発送しました。子ども達の真心のこもった温かいメッセージがみなさんの心に届くといいですね・・・

